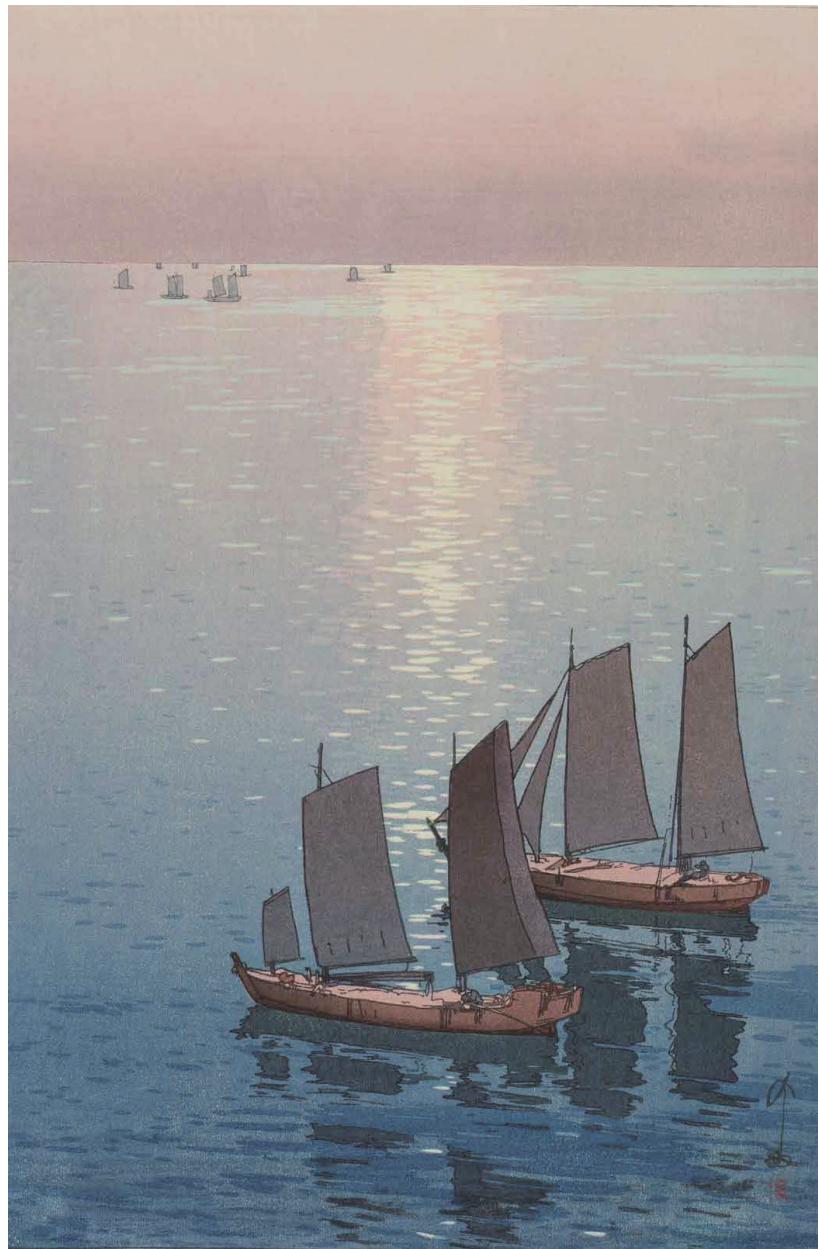


# 光る海 吉田博展

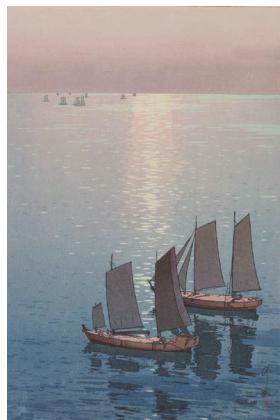


2025年12月20日(土)～2026年1月27日(火)  
MOA美術館

## 展覧会概要

近代風景画家の第一人者、吉田博（1876－1950）は、こよなく自然を愛し、自然のなかにこそ美があり、自然とそれを直接見ることのできない人との間に立って、その美を表わすことを画家の使命としました。

博の作品のほとんどは自ら体感した風景画で占められており、その取材範囲は、日本はもとより世界各国に及んでいます。特に、後半生に傾倒した私家版木版画では、浮世絵版画の伝統的な技法に、油彩画のタッチと水彩画の色彩表現を用いた洋画技法を取り入れ、未開拓の新しい芸術を創造しました。本展では、刻一刻と変化する海を捉えた「瀬戸内海集」シリーズや、合計7年間を超える外遊から生まれた「米国シリーズ」、「歐州シリーズ」など、木版画の代表作約70点を展覧します。また、博が描いた風景の現在の姿を撮影し、独創的な技術で表現された作品の魅力をオリジナル映像で比較展示します。



「瀬戸内海集 光る海」  
大正 15 年 (1926)



「日本アルプス十二題 劍山の朝」  
大正 15 年 (1926)

## 吉田博について

吉田博（1876-1950）は、久留米藩士・上田束の次男として、久留米市に生まれました。17歳で上京して小山正太郎（1857-1916）の主催する画塾・不同舎に入門し、本格的な画業を開始しています。明治32年（1899）、23歳の時、描き溜めた水彩画を携え、1か月分の生活費のみを持って、後輩・中川八郎とともに決死の渡米を行いました。

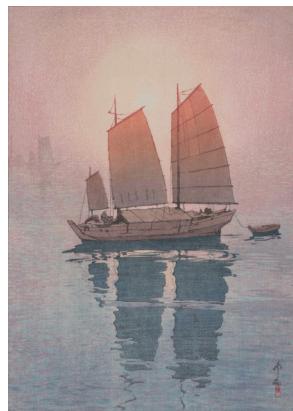
この時、デトロイト美術館等での展示即売会の大成功によって資金を得て、ヨーロッパも巡って2年後に帰国しています。さらに2年半後には、のちに夫人となる義妹ふじをと共に再び渡米し、3年以上をアメリカ、ヨーロッパで過ごしました。これらの外遊によって古今の西洋美術に触れると共に大いに画技を磨き、洋画団体・太平洋画会の中心人物として活躍しました。

大正9年（1920）、44歳の時、版元渡邊庄三郎との出会いにより、初めての木版画「明治神宮の神苑」を出版しました。当初は版画の下絵を制作する程度でしたが、関東大震災後、被災した太平洋画会会員の作品販売を目的に渡米した際、米国で日本の版画が大変な評判であることを知り、自ら習得した西洋の写実的な表現と日本の伝統を生かした新しい木版画創造の必要性を実感するに至りました。帰国した大正14年（1925）、49歳の時、初めて自ら監修した木版画の作品を発表し、その後の後半生は油彩画と並行し木版画の制作に情熱を傾けました。

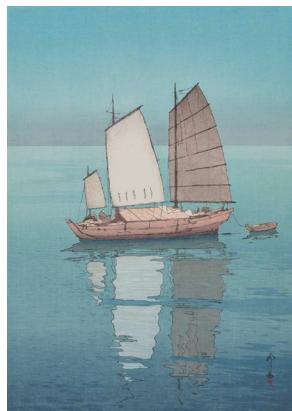
みどころ

## 1 博が描いた風景と、その現在の姿を比較展示

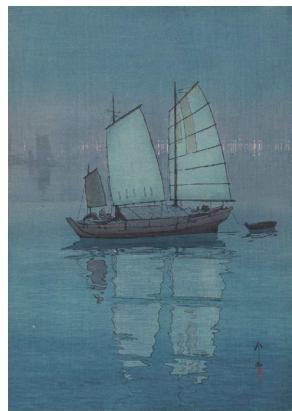
博が描いた作品の場所を、当館スタッフが独自に取材し、撮影しました。空気までも描いたといわれる博の作品とともに、現在の風景を映像や写真パネルで比較展示します。



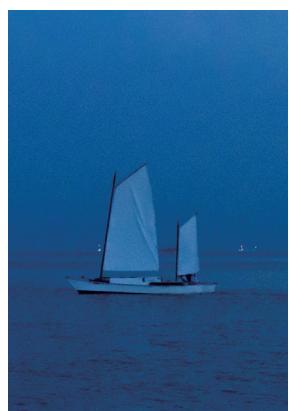
「瀬戸内海集 帆船 朝」  
大正 15 年 (1926)



「瀬戸内海集 帆船 午後」  
大正 15 年 (1926)



「瀬戸内海集 帆船 夜」  
大正 15 年 (1926)



現在の瀬戸内海  
(2025 年 撮影)

## 2 世界の風景に取材した吉田博の代表的な木版画作品を展示

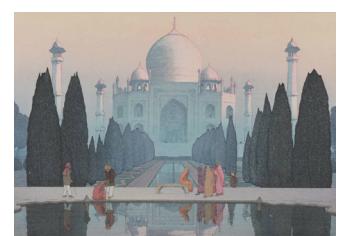
初めての私家版木版画「米国シリーズ」や、刻一刻と変化する海を捉えた「瀬戸内海集 帆船」など代表作品を展示します。



「米国シリーズ  
レニヤ山」  
大正 14 年 (1925)



「米国シリーズ  
グランドキャニオン」  
大正 14 年 (1925)



「印度と東南アジア  
タジマハルの朝霧 第五」  
昭和 7 年 (1932)



「日本アルプス十二題 穂高山」

大正 15 年 (1926)



「日本アルプス十二題 五色原」

大正 15 年 (1926)

### 3 高精細画像を使用したオリジナル映像を投影

博の木版画は、他に類をみない摺の多さが特徴の一つです。平均 30 回、多い時は 100 回近く摺を重ねることで、豊かな色彩を生み出し、博が実際に体感した自然の質感や立体感、空気感を表現しています。



※写真はイメージです。

展覧会名：光る海 吉田博展

会期: 2025 年 12 月 20 日 | 土 | - 2026 年 1 月 27 日 | 火 |

会場: MOA 美術館 〒 413-8511 熱海市桃山町 26-2 TEL: 0557-84-2511 URL: <https://www.moaart.or.jp>

開館時間: 午前 9 時 30 分 - 午後 4 時 30 分(入館は午後 4 時迄)

休館日: 木曜日 ※ 1/5(月)-9(金) は年始休館

観覧料: 一般 2,000(1,800)円 / 高大生 1,400(1,200)円・要学生証 / 中学生以下無料 /

※()内は 10 名以上の団体料金

※障害者割引の適用は障害のある方とその付添者 2 名、合計 3 名様無料となります。(証明できるものをご提示ください)

※前売り券は、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート)でもお求めいただけます。

交通: JR 東海道新幹線・東海道線 熱海駅下車、駅前バスターミナル⑧番乗り場より MOA 美術館行 約 7 分終点下車

広報画像をご希望の方は、必要事項をご記入のうえメールまたはFAXにてお申し込みください。

Email: moaart-info@moaart.or.jp

FAX: 0557-84-2570 MOA美術館 広報宛て

### 広報画像申込書

MOA美術館 広報画像を希望します。

貴社名

ご所属

お名前

ご住所

TEL

FAX

E-mail

媒体名

掲載予定日／放送予定日

年 月 日 発売／放送予定

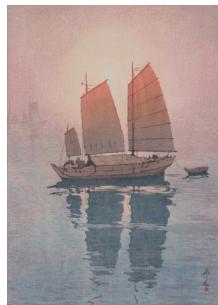
掲載概要、予定文字・ページ数など  
(お分かりになる範囲でお願いいたします。)

貸出し希望画像番号

### 広報画像



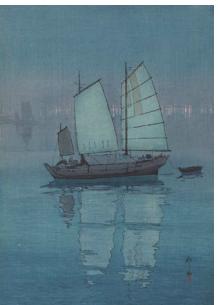
1



2



3



4



3



4

1「瀬戸内海集 光る海」 大正15年(1926) 吉田 博 MOA美術館

2「瀬戸内海集 帆船」のうち左から朝、午後、夜 吉田 博 大正15年(1926) MOA美術館

3「米国シリーズ エル キャピタン」 大正14年(1925) 吉田 博 MOA美術館

4「欧州シリーズ ヴェニスの運河」 大正14年(1925) 吉田 博 MOA美術館

#### 〈広報画像取扱いに関する規定〉

◎広報画像はすべてMOA美術館を紹介する場合に限ります。事前の申請・承諾なく二次利用いたしません。

◎広報画像を紹介する場合には、指定されたクレジットを併記します。

◎トリミング、変形、部分使用、文字のせは無断で行いません。

◎〈広報画像取扱いに関する規定〉に承諾のうえ、画像申込みを行います。

#### 〈個人情報の取扱いについて〉

ご記入いただきました個人情報は、広報からの情報発信やご案内など必要なご連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。

MOA美術館 広報担当

TEL 0557-84-2567

Email

moaart-info@moaart.or.jp